

【NEWS RELEASE】

2026年6月22日

各位

 株式会社三井住友フィナンシャルグループ
 株式会社三井住友銀行

SMBCグループ版 Emerging Manager Program
新興運用業者が運用する円金利を主な投資対象とするヘッジファンドへの投資について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：中島 達、以下、グループを総称して「SMBC グループ」）傘下の株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、今般、BNP Paribas Asset Management, Prime（※1）と共同して、新興運用業者が運用する円金利を主な投資対象とするヘッジファンドに対して投資（以下、「本投資」）を実施しましたので、お知らせします。

2024年に資産運用立国の実現に向けた、グループの取組の一環であるSMBCグループ版“Emerging Manager Program”の施策を掲げて以降、新興運用業者が実質運用するファンドへ投資してきました。今般、国内では長期にわたる低金利環境が転換点を迎え、円金利への投資機会が改めて注目されています。円金利を投資対象とするヘッジファンドへの投資を通じて、「金利のある世界」における新たな運用機会の創出と、円金利運用戦略のさらなる高度化を後押ししてまいります。

本投資にあたっては、ファンドスキームおよび投資先に対するデューデリジェンス機能については、三井住友 DS アセットマネジメント株式会社（代表取締役社長 兼 CEO：荻原 亘）が提供いたしております。

< SMBCグループ版 EMP 投資実績 >

投資時期	主要投資対象	概要
2025年2月	国内のバイアウト、ベンチャーキャピタルファンド	株式会社三井住友銀行傘下のエー・アイ・キャピタルが組成する新興運用業者が運用する国内バイアウト、ベンチャーキャピタルへ投資するファンド・オブ・ファンズ
2025年3月	日本株式	ロングショート戦略
2026年6月(今回)	円金利	ロングショートを活用したマクロ戦略

今回の投資は、運用戦略からの投資リターンを得るとともに新興運用業者の成長も享受することも目指します。

SMBC グループにおいては、日本政府が掲げる資産運用立国の実現に向けた、グループの取組として「資産運用ソリューションプロバイダー」へ向けたグループ戦略の方向性について」(※2)を公表し、施策を進めてまいりました。

今後も、グループ戦略の施策の1つである SMBC グループ版“Emerging Manager Program”を通じて、特色ある新興運用業者が運用するファンドに対して投資を実施していくことで、資産運用立国の実現に貢献してまいります。

※1 BNP Paribas Asset Management, Prime は、欧州有数の資産運用会社である BNP Paribas Asset Management のオルタナティブ投資部門に属し、プライベート市場およびヘッジファンドにグローバルに投資を行っています。

※2 2024年1月24日プレスリリース
「資産運用ソリューションプロバイダー」へ向けたグループ戦略の方向性について
<https://www.smbc.co.jp/news/pdf/amsp.pdf>

2025年3月12日プレスリリース
SMBC グループ版 Emerging Manager Program
AIC ライジング・スターズ・ジャパン 1号投資事業有限責任組合の設立および出資について
https://www.smfg.co.jp/news/pdf/j20250312_01.pdf

2025年3月18日プレスリリース
SMBC グループ版 Emerging Manager Program
新興運用業者が運用する日本株式を主な投資対象とするヘッジファンドへの投資について
https://www.smfg.co.jp/news/pdf/j20250318_01.pdf

以 上